

表 3 工 場 見 学

No.	工場	場所
5月7日	1 KLOCKNER-WERKE	OSNABRÜCK
	2 THYSSEN HENRICHSHÜTTE KRAFTWERK UNION AG	HATTINGEN MÜLHEIM (RUHR)
	3 BÖHLER AG SCHIESS-FLORIEP	DÜSSELDORF-OBERKASSEL DÜSSELDORF-OBERKASSEL
5月8日	4 KRUPP STAHL AG MANNESMANN DEMAG	ESSEN DUISBURG
	5 SMS SCHLOEMANN-SIEMAG	DAHLBRUCH
	6 KIND & CO EDELSTAHLWERKE PLATE	WIEHL PLATEHOF near LÜDENSCHIED

て見学した。(表3)

今年のヨーロッパは4月から悪天候がつづいていたが、工場見学のはじまった頃から好天となり、本会議の最終行事である5月9日のライン川下りの日は最高の日和であった。

なお第10回国際鍛造会議は3年後に、イギリス Sh-

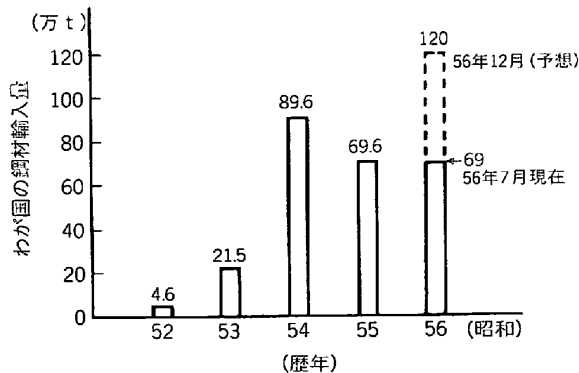
effield で開かれることになった。

自由鍛造の業界は比較的狭い業界であり、メーカー、ユーザーを問わず、既に顔なじみの関係になつている連中が多く、会期中講演会、パーティを通じて盛んな交歓風景が見られ、相互の友好促進、情報交流に役立つと思われる。

統 計

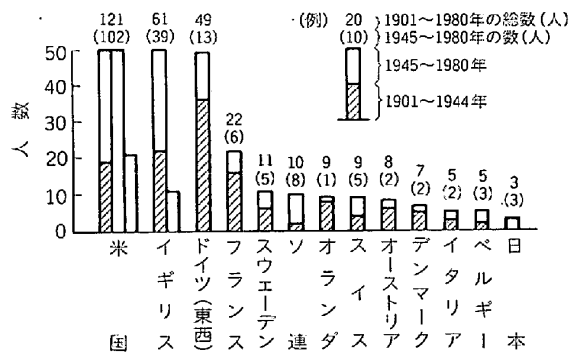
最近のわが国鉄鋼輸入量の動向

世界の主要鉄鋼輸出国であるわが国で最近、海外からの輸入鋼材が増加している。ちなみに、近年の鋼材輸入動向をさかのぼってみると、グラフに示したような増加傾向にあり、今年は1~7月までの調子で推移すれば(10万t/月の割合)年末には120万tが輸入される勘定になる。



わが国鉄鋼輸入量の最近の動向  
(日刊工業新聞 56.9.7 のデータより)

ノーベル賞受賞科学者数



(注) 物理、化学及び医学生理の各賞に限る。  
(科学技術庁編：昭和56年版科学技術白書  
(昭和56年7月) p. 16)